

元興寺文化財研究所協力講座

2024年度前期(4月～9月)

〈元興寺文化財研究所のご案内〉

元興寺文化財研究所は、元興寺で発見された類例を見ない「中世庶民信仰資料」の整理と性格究明、保存を目的として設置された調査室を前身としています。1961年には国内初の近代的手法による出土木製品の保存処理を実施するなど、半世紀以上にわたって民間唯一の総合的な文化財研究機関として指定文化財や身近な民俗資料など日本各地の様々な文化財の保存・修復や調査研究を手掛け、文化財保存の先陣を切ってきました。



2016年には各種文化財の調査・保存・修復・科学分析を一手に担う「文化財の総合病院」として総合文化財センターを開設し、X線CTなどの最新機器の導入による新たな技術開発や、文化財の保護と普及にも取り組んでいます。

〒630-8304 奈良市南肘塚町146-1 TEL:0742-23-1376 FAX:0742-27-1179 <https://www.gangoji.or.jp/>



文化財調査☆最前線

元興寺文化財研究所は、元興寺で発見された仏教民俗資料を研究し保存処理するために創設され、以来半世紀にわたって日本各地の諸種の文化財の調査や修復を行っています。本講座では、研究所・各研究員が手掛けた調査・研究の最新成果を分かりやすく解説します。

日時	テーマ
4月9日(火) 13:30～15:00	文化財防災“最前線”「天空の城」竹田城の石垣を解剖する
5月14日(火) 13:30～15:00	歴史に災害とその対応を学ぶ
6月11日(火) 13:30～15:00	戦後復興期消滅古墳の実態を探る—副葬品の調査から—
7月 9日(火) 13:30～15:00	石垣普請と余った石材の取り扱い—徳川大坂城を事例に—
7月30日(火) 13:30～15:00	百余国の時代—近畿北部からの視点—
9月10日(火) 13:30～15:00	奈良時代の飛鳥・藤原—高取町越智遺跡の調査成果を中心に—

【講師】 元興寺文化財研究所研究員

【会場】 近鉄文化サロン阿倍野

【受講料】 各1回 2,530円

※価格は、消費税を含んだ税込価格を表示しています。

4/9
(火)

文化財防災“最前線”「天空の城」竹田城の石垣を解剖する

近年の地球温暖化にともなう気候変動で、集中豪雨や大型台風が恒久的に発生して、文化遺産でも大規模な災害が発生している。今後は被災文化財の“災害復興”ではなく、災害を未然に防ぐ“文化財防災”の視点が重要である。ここでは、「天空の城」竹田城の石垣での防災調査の取り組みについて紹介する。

【講師】 塚本敏夫 【時間】 13:30～15:00 【受講料】 2,530円



竹田城石垣の内部状況を地中レーダー(GPR)で探る。

5/14
(火)

歴史に災害とその対応を学ぶ

発掘調査では地震や津波、洪水、火山噴火等の災害の痕跡が多く見つかっています。地震に関しては研究が進み、その周期性を考える上で重要なデータが蓄積されてきています。今回のお話では、考古学や歴史学から災害と復興について考えてみたいと思います。

【講師】 江浦洋 【時間】 13:30～15:00 【受講料】 2,530円



大地震両川口津浪記(大阪市浪速区)

6/11
(火)

戦後復興期消滅古墳の実態を探る—副葬品の調査から—

戦後から各地で復興や開発が進展した中、各地では古墳や遺跡が壊される事態も少なからず行われました。その中には、現在でも重要な位置づけを与えられる遺物を出土した古墳なども含まれます。本講座で愛知県大須二子山古墳の副葬品を中心に、その築造と時代的背景を探ります。

【講師】 初村武寛 【時間】 13:30～15:00 【受講料】 2,530円



愛知県大須二子山古墳の跡地

7/9
(火)

石垣普請と余った石材の取り扱い—徳川大坂城を事例に—

近年、石丁場や矢穴技法の調査研究の蓄積が進んでいる。こうした成果を踏まえ、徳川政権による大坂城の再築普請の具体像を明らかにし、石垣に用いられなかった石材が石垣普請を終えた後どのように扱われたのかについて考えたいと思います。

【講師】 坂本俊 【時間】 13:30～15:00 【受講料】 2,530円



小豆島天狗岩丁場跡の残石

7/30
(火)

百余国の時代—近畿北部からの視点—

邪馬台国の時代以前、日本列島は百余国に分かれていたと『魏志倭人伝』は語ります。弥生時代後期社会の様子を説明しているこの記述を糸口として、邪馬台国成立の礎となる弥生時代後期という時代について、近畿北部からの視点で読み解きます。

【講師】 村田裕介 【時間】 13:30～15:00 【受講料】 2,530円



天橋立と阿蘇海

9/10
(火)

奈良時代の飛鳥・藤原—高取町越智遺跡の調査成果を中心に—

飛鳥時代に王宮があった飛鳥・藤原地域。しかし、平城京へ遷都後の奈良時代の遺跡はあまり多くありません。当研究所が2021年に発掘調査した越智遺跡では、奈良時代の墨書土器や木製品などが多く出土しました。この遺跡を中心に奈良時代の飛鳥・藤原のすがたを探っていきます。

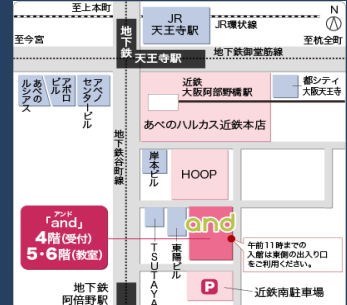
【講師】 瀬戸哲也 【時間】 13:30～15:00 【受講料】 2,530円



越智遺跡出土「越」などと書かれた墨書土器

※各講座とも、開催場所は近鉄文化サロン阿倍野です。

WEBでご予約から入金までできるようになりました
お問合せ・お申込みは 近鉄文化サロン阿倍野
(06) 6625-1771



〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋2-1-40 and4階
【受付時間】10:00～19:00
(日曜日10:00～16:00 ※2024年3月までは17:00まで)
※休業日:3/29(金)～3/31(日)、4/29(月)～5/5(日)、
7/29(月)、8/11(日)～8/15(木)、8/30(金)、8/31(土)
休業日は受付業務を休ませていただきます

【受講のお申込みは】
●事前にご予約のうえ、実施日の5日前までにご入金手続きをお済ませください。
●近鉄文化サロンホームページからご入金・ご入金いただけます。
※WEBでお手続きの場合、入金無料で会員登録が出来ます。
●各講座とも満員になり次第締め切らせていただきます。
※ただし、一定の人数に満たない場合は、講座を中止させていただくこともございます。

※価格は、消費税を含んだ税込価格を表示しています。